

# 小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

平成29年7月10日・月 No.16

## オーケストラ部 ゴールド金賞おめでとう!



演奏後、達成感に満ちた笑顔で記念写真

### 賞状

全日本吹奏楽コンクール  
第59回秋田県大会県南地区大会

**金賞**

中学校小編成の部

角館中学校殿

貴団体は全日本吹奏楽コン  
クール第59回秋田県大会  
県南地区大会で頭書の成績を  
収めましたのでその優れた  
演奏を讃えこれを賞します

平成29年7月8日

秋田県県南地区吹奏楽連盟会長 加藤 功

### オーケストラ部 部長 K.

今回、私たちは、吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。うまくいった部分もありましたが、課題も見つかったので、他の学校の演奏も参考にし、県大会では、さらにいい演奏ができるように、練習をがんばりたいと思います。

8月1日に県大会に出場します。ぜひ、見に来てください。

7月8日(土)、全日本吹奏楽コンクール 第59回秋田県大会県南地区大会が大曲市民会館で開催され、角館中学校オーケストラ部が見事に金賞を射止め、8月1日に行われる県大会への出場権を獲得しました。

この日午後の小編成の部の7番目に登場した角中オーケストラ部の演奏曲は、酒井格作曲の「森の贈り物」でした。この曲は鹿児島県の屋久島にある縄文杉で有名な森をテーマにしており、樹齢7200年と言われる縄文杉を始め、巨木

が数多くある森の素晴らしさを音楽で表現し、豊かな恵みを残してきてくれた森が、これからは私たちの手によって守られていくことを願って作られた曲とのことでした。

この日の演奏では、曲の中に登場する、森の精や長老、そこに住む生き物たちの息吹や嵐、そして、緑いっぱいの森の美しさがよく表現されていたと感じました。

曲の中では、それぞれのパートがしっかりと自立しながらも、他のパートに呼びかけ、それに応え、共感しながら曲が流れているように感じました。部員たちの「美しい音楽を響かせたい」という思いが、連なり、結びついて、曲名どおりの素晴らしい贈り物を創造していたと思います。

県大会に向けて、さらに練習を重ねてより素晴らしいハーモニーを目指してください。

### 3年A組で授業をしました

角館中学校では、教員の指導力の向上と同僚性の構築のために、全ての教員が1年に1回は必ず研究授業を行い、指導技術や授業構想力を磨き合っています。



これを「一人一研究授業」と称していますが、今年度の最初の一人一研究授業を私(校長)が、7月7日(金)2校時、3Aで行いました。授業は学級活動で題材は「読書のよさを確かめ合おう」でした。

事前に3年生全員に行った読書についてのアンケート調査をもとにしながら、私の読書体験の紹介や、3Aの1人1人がお互いの読書体験を伝え合い、今まで気づかなかった読書のよさを確かめ合おうという内容でした。気に入った本を紹介する場面では、その本に対する熱い思いが言葉となってほとぼる姿もあり、読書について語り合う楽しさも感じてくれたようです。これをきっかけに、読書の幅を広げてくれればと思います。

今年は11月2日(金)に、秋田県特別活動研究大会で本校が授業を公開します。7月12日(水)には、指導主事が来校して、それに向けた授業研究会も行われます。

学級活動や生徒会活動などの特別活動で、角中を、生徒の自主性が発揮される、一層活気ある学校にしていきたいと思っています。